



主な内容	No.1284
■子ども特集4面
■年未年始主な施設の閉庁・休館2面
■市国保高額療養費限度額などの変更3面
■市民ガイド5~9面

救急病院当番表(1月)を9面に掲載しています。

発行：松山市役所／編集：総合政策部広報課／毎月1日・15日 ☎ 948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市 まつやま を目指して



「健幸(健康)」「賑幸(振興)」「幸共(公共)」 2期目野志市政がスタート



2期目への決意を語る野志市長

当日、野志市長は10時から市役所本館11階大会議室で就任式に臨み、集まった約400人の職員を前に、「市役所の存在意義である『市民との距離の近さ』を大切に、現地・現場を第一に、『市民協働のまちづくり』を進めたい。そして観光資源や公共交通など、松山の恵まれた資源を生かし、『地域拠点都市』として、県や周辺自治体との連携を強化したい」と2期目への決意を述べました。

その後、部長級などの幹部職員を集め、今後の市政運営や基本方針などを指示しました。

1期目でのタウンミーティングに象徴される、徹底した市民目線による行政を基本に、「健幸(健康)」「賑幸(振興)」「幸共(公共)」を柱として「幸せ」に重点を置いた姿勢で「子育て・教育」「福祉・医療」など8つの「幸せ実感」と30の「幸(公)約」を掲げた野志市政の第2幕がスタートしました。

◆野志市長の横顔

野志克仁(のしかつひと) 昭和42年7月31日生まれ。47歳。岡山卒業後、地元放送局にアナウンサーとして勤務。平成22年11月28日第30代松山市長に就任、全国市長会副会長などを歴任。安城寺町に妻、長女、長男と4人暮らし。

徹底した「市民目線」による行政を

11月16日に行われた松山市長選挙で、12万5334票を獲得し当選した野志市長は11月28日、第31代松山市長として初登壇しました。2期目の市長就任に当たり「一人でも多くの人々の笑顔のために働き、幸せを実感できるまちを作っていきたい」と抱負を語りました。



保存してください。いつかまたお役に立ちます

花園町通りが光のギャラリーに イルミネーション 花園2014 平成27年 1月12日(月・祝)まで

お問い合わせは、観光・国際交流課 ☎ 948 6556・FAX 943

9001

市駅前の「光のリドー」

光のベンチに座って記念撮影を

光に包まれた花園町通り

初冬の花園町通りを彩る風物詩となった「イルミネーション 花園2014」が11月21日からスタート。今年も「光のギャラリー」をテーマに街路樹のLED装飾をはじめ、光のプラコなど、記念撮影スポットが充実。さらに花園町商店街の参加店舗を3つ利用すればプレゼントが当たる「花園めぐりん」やクリスマスイベント「花園ぱるく」(12月20日・21日)も13~16時など楽しい催しも用意。皆さんぜひお越しください。

メインツリーがきれい

さまざまな色の光がキラキラと重なり合っていて、だんだんと子どもたちと一緒に喜んで見えました。特にメインツリーが一番きれいでした。

廣瀬真理子さん、夏海ちゃん、心海ちゃん(徳島県)

一段と鮮やかなメインツリー